



真菌医学研究センター Monthly セミナー

平成26年12月17日(水) 10:00~
千葉大学真菌医学研究センター 大会議室

現代人の食と炎症

微生物資源分野・助教 大荒田素子

肝臓は、腸管で吸収された食事成分(栄養素、添加物)が最初に運びこまれ、代謝、解毒される重要な臓器である。また免疫臓器としても重要な役割を担っている。現代人の乱れた食生活が肝臓での炎症誘導の原因となることを明らかにした。その原因となる栄養素は炭水化物であり、脂肪組織での炎症誘導因子(飽和脂肪酸)とは異なる。さらに近年疾患との関連が注目されているフルクトースよりもグルコースが要因となることなどを確認した。

Aspergillus niger のフモニシン産生に関する遺伝子の機能解析

病原機能分野・助教 清水公德

Aspergillus niger を含む *Aspergillus section Nigri* は、焼酎の醸造やクエン酸発酵のほか、各種酵素剤の製造にも利用されている極めて有用な菌群である。ところが *A. niger* がフモニシンB2 (FB2) を産生することや、*A. niger* の混入によると思われるFB2の食品汚染が報告されたため、FB2産生遺伝子クラスターを同定し、その機能を解析した。その他の研究の進行とあわせて紹介したい。

世話人：笹川千尋 (千葉大学真菌医学研究センター長・東京大学名誉教授)
知花博治 (千葉大学真菌医学研究センター病原機能分野)
高橋弘喜 (千葉大学真菌医学研究センター微生物資源分野)
連絡先：高橋弘喜 (E-mail: hiroki.takahashi@chiba-u.jp)